

DAISO で売っている  
「食べ残し NO ゲーム」



しょうごう  
小6のとき考案  
100円ショップで販売

くり た あきら  
栗田哲さん(大学生)



栗田哲さん  
本人提供

2023年(令和5年)

8月23日 水曜日

©朝日学生新聞社  
〒104-8433 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞社新館9階  
電話 03-3545-5223(広報) 03-3545-5222(編集)  
購読申し込み 0120-415843 ウェブサイト www.asagaku.com

# 朝日小学生新聞

食品ロス防ぐんだ「食べ残しNOゲーム」

100円ショップのDAISOでこの春、「食べ残しNOゲーム」というボードゲームが発売されました。大学生の栗田哲さん(18歳)が、小学6年生のときに考えたゲームです。

すし屋やパン屋などにふんして、店を出す料理の量と金額を書いた「メニューカード」を持ち、お客さんが食べられる量に合った料理を出すことで競います。アレルギーや好ききらい、持ち帰りにするなど、食べ残しに関係する「アクションカード」も勝ち負けを左右します。

栗田さんは小学生のとき、NPO法人ディープリープル(大阪市)が開く講座を受けました。社会の課題を見つけ、解決を考える内容です。そこで、お父さんが営む飲食店での食べ残しが気になり、食品ロス(食品のむだ)をテーマにしたボードゲーム作りを思いつきました。

ゲームは2018年に売り出し、小学校や大学などで授業に使われてきました。「DAISO版」は値段をおさえるため、ルールを簡単にして内容を減らしています。ただ、食べられる量とお店が出す量の差が食品ロスを生む、という大事な部分は伝わるようしました。

栗田さんは「小さく手に取りやすい値段になったので、気軽に遊びながら学んでほしい。ふだんの生活で、少しでも食品ロスに気をつけるようになってくれたらいい」と話しています。